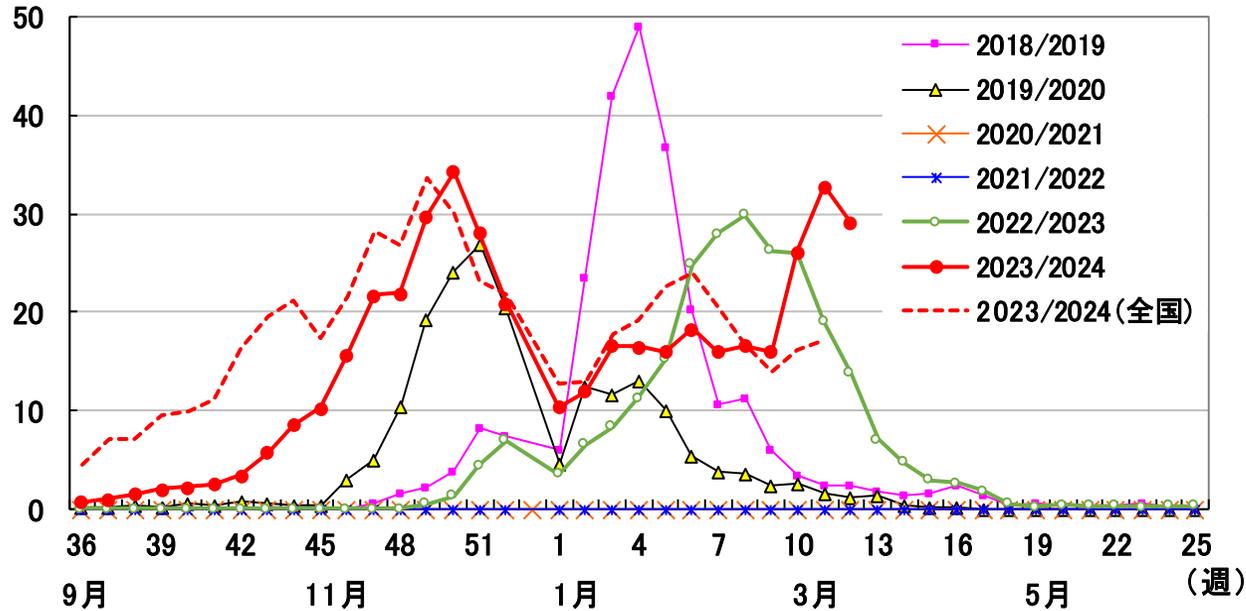


# インフルエンザの発生状況(富山県)

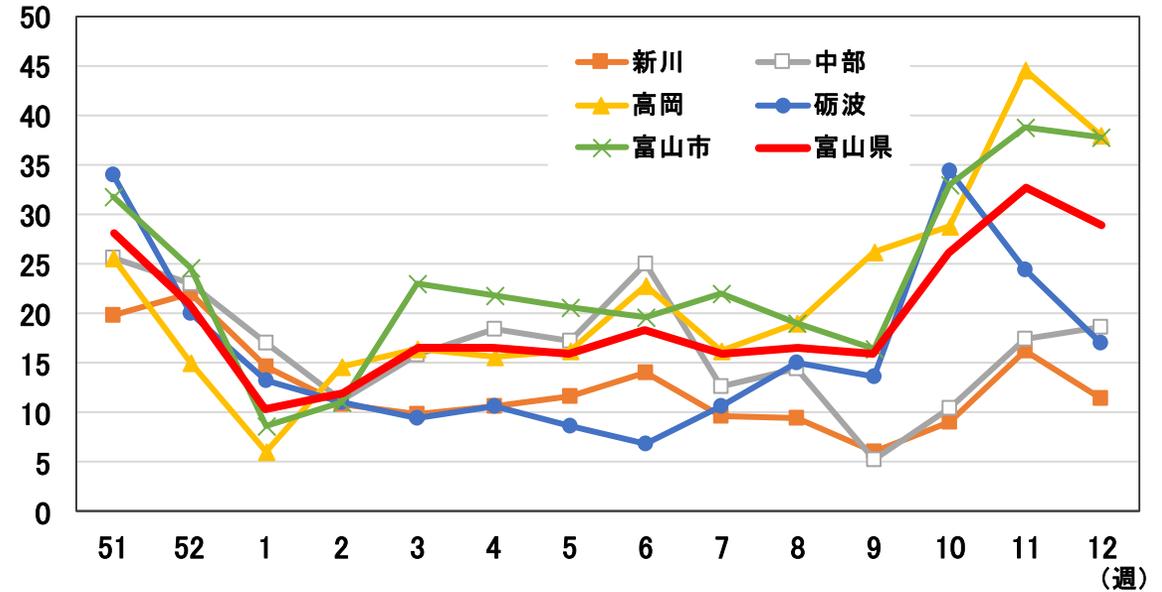
【第12週(2024/3/18~3/24) 感染症発生動向調査速報値 (2024/3/27時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第12週) **29.04**人/定点となり、先週(32.79人/定点)からやや減少した。なお祝日に伴う医療機関の休診による影響も考えられる。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、中部管内を除くすべての管内で先週から減少または横ばいであった。しかし高岡管内、富山市管内では先週(第11週)に引き続き警報レベルである30人/定点を超えている。

図3. 年代別割合(富山県、第12週)

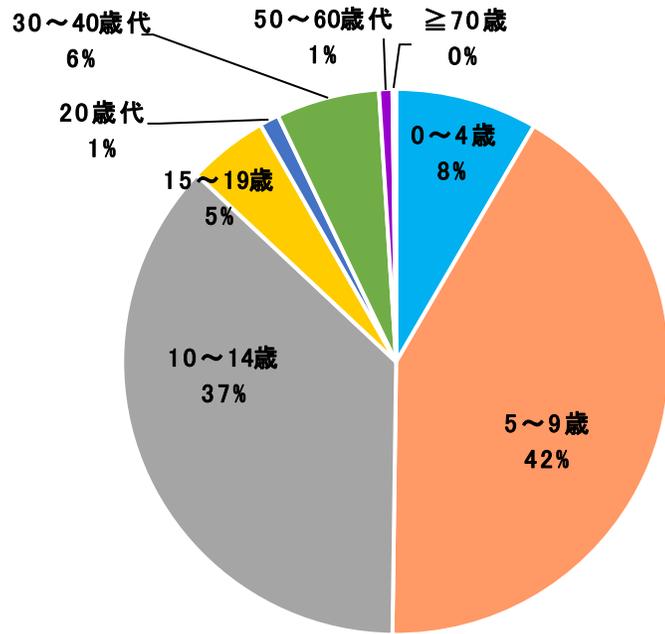
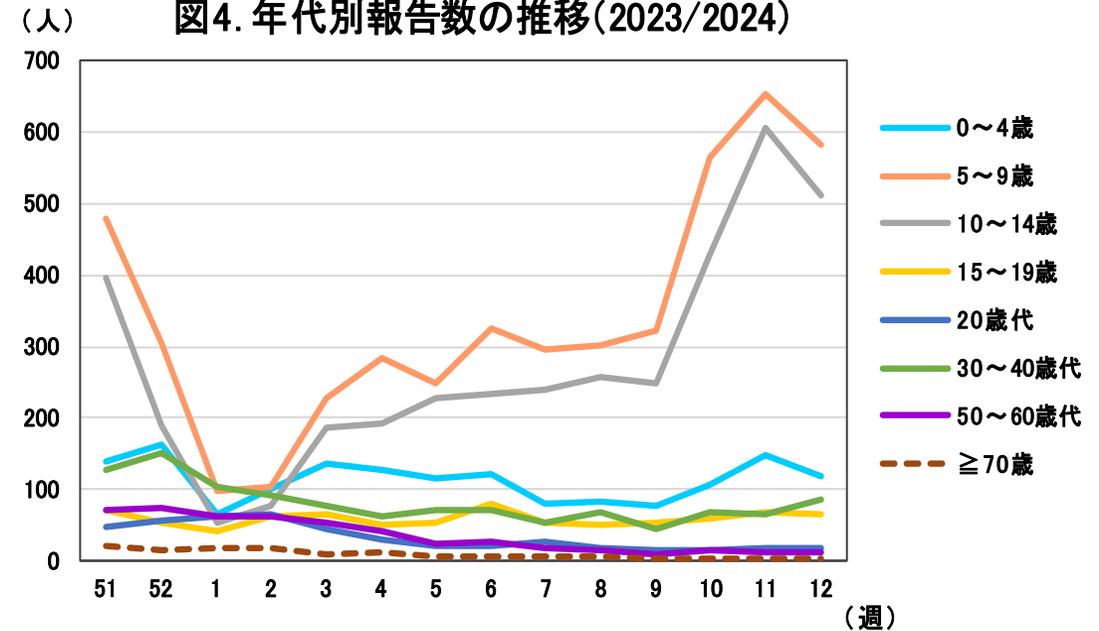


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第12週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が87%を占め、先週（90%）とほぼ同等であった。
- 年代別報告数の推移（図4）では、15歳未満において先週と比較して減少した。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第12週に19件（小学校12件、中学校6件、高等学校1件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第11週)

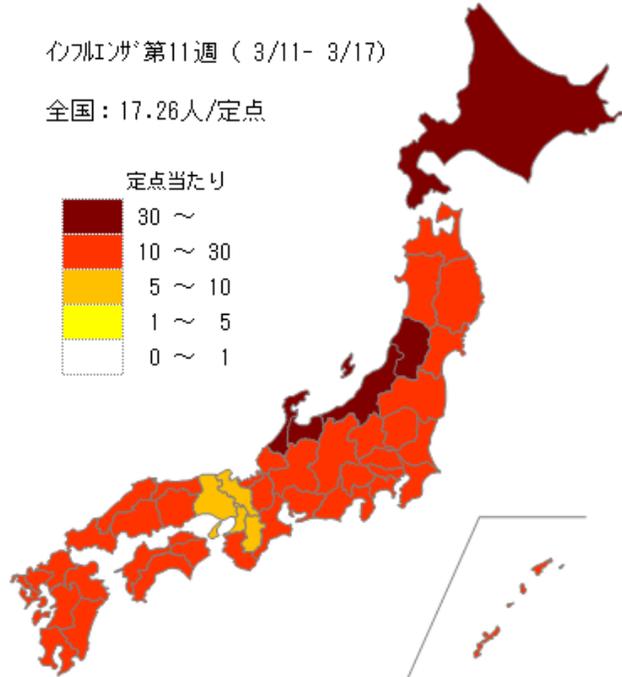
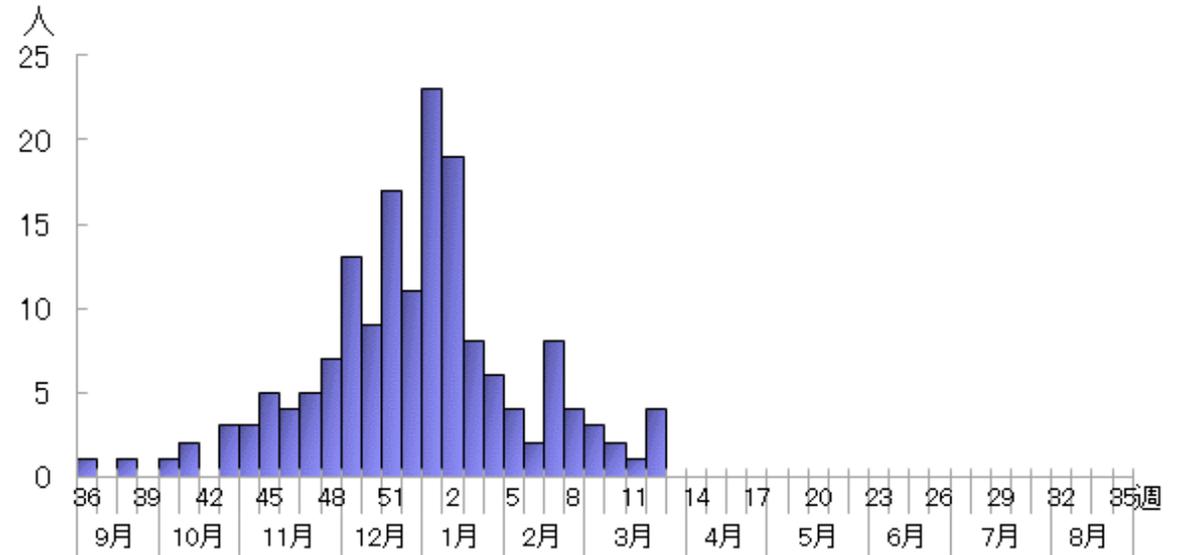


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第12週)



- 全国では第11週に17.26人/定点となり、第10週 (16.14) から増加した。都道府県別 (図5) では、43都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。また、その内5道県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス (図6) では、第12週に4例 (10歳未満2例、10歳代2例) の報告があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は今週減少に転じたが、祝日による医療機関の休診の影響も考えられる。また、B型の検出割合が今週91.7%と、先週 (88.8%) からやや増加した ([富山県感染症発生動向速報2024年第12週](#))。小児を中心にB型による感染が拡大しており、引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。